

## 基礎的研修

主要題目	臨床発達心理士に求められる資質・能力	資質・能力を高めるための研修要点	主要項目とキーワード
【臨床発達心理学の基本を学ぶ】	臨床発達心理士として働く際に必要な臨床発達心理学の基本的知識を理解して実践に繋げることができる	【臨床発達心理学の基本】 臨床発達心理学の基本理念を理解するとともに、基本の知識を理解し、臨床発達心理士のアカデミックなバックグラウンドを知る。	(臨床発達心理学の基本理念) (発達の生物学的基礎) (発達理論) (心理学のアプローチ)
		【生涯発達段階の特性等】 臨床発達心理学では、発達を生涯発達の観点からとらえることを知る。そして、発達段階の区分を知り、各段階の特性、発達状況、発達課題等の基本の知識を理解する。	(胎児期) (乳児期) (幼児期) (児童期) (青年期) (成人期) (高齢期)
		【領域別の発達】 臨床発達心理学の各発達領域について、基本の知識を習得し、人の発達の全領域についての理解を深める。	(身体・運動発達) (感覚・知覚の発達) (記憶・認知の発達) (言語・コミュニケーション発達) (社会・情動の発達)
【臨床発達心理士の専門性を知る】	臨床発達心理士として専門性を携えるために必要な基本の知識を習得し、専門性を高めることができる。	【臨床発達心理士の専門性】 様々な臨床発達支援の知識・技能と理解	(専門性の基本的考え方) (日本臨床発達心理士会の体制) (臨床発達心理士の得意分野) (臨床発達心理士の活躍の場)
		【高度専門性】 スーパービジョン、コンサルテーション、ガイダンスについての基本の知識を習得し、対象機関に応じた適切な対応を理解する。	(スーパービジョン) (コンサルテーション) (ガイダンス)
	臨床発達心理士として働く際に必要な分野別の基礎的知識を理解し、実践に繋げることができる。	【障害分野について】 障害に関わる分野(心理,教育,福祉等)についての基本の知識を習得し、障害児者を取りまく事象を包括的に捉えらえるようにする。	(障害種別) (教育・福祉システム) (生涯発達段階の支援) (障害に対する社会的理念) (家族支援)
		【心理・福祉分野について】 生涯発達段階ごとに、各段階でおこる心理・福祉分野の問題について基本の知識を習得し、生涯発達で生じる問題を包括的に捉えらえるようにする。	(妊娠期の問題) (乳幼児期の問題) (児童期・青年期の問題) (成人期の問題) (高齢期の問題)
臨床発達の実践に評価法・研究法の基本を理解し、臨床発達の実践を検証したり、実践に必要な研究論文を理解することができる。そして、それらを実践で繋げることができる。	【医学分野について】 医学分野に関わる基本の知識を習得し、対象児児者の障害や問題を理解する際に医学的知識が活かせるようにする。	(診断・分類基準) (医学的検査・健診) (治療)	
	【臨床発達の実践の評価法・研究法】 臨床発達の実践において必要とされる評価法や研究法の基本の知識を習得し、自分の実践を検証したり、必要な研究論文を理解する。	(研究手続き) (研究方法) (研究デザイン)	
	【研究倫理】 研究に関する倫理について基本的な知識を知り、研究における倫理の遵守に務める。	(倫理項目) アドボカシー(権利擁護)、倫理綱領、インフォームド・コンセント、多重関係、守秘義務、個人情報保護	

【臨床発達支援の 基本を学ぶ】	臨床発達心理士にとって必要なアセスメントについて基本の知識を習得し、それらを用いて対象児者を理解し、抱える問題を把握することができる。	【アセスメントの基本】 臨床発達心理士におけるアセスメントの基本的な考え方を学び、そのアセスメントの考え方に沿って臨床発達の実践を遂行する。	(アセスメントの基本的考え方) 包括的アセスメント, 生態学的視点, テストバッテリー
		【アセスメントの手法】 臨床発達の実践で必要とされるアセスメントの手法の基本の知識を習得し、自分の実践においてどのようなアセスメントの手法を用いればよいかを判断することができる。	(基本情報の収集) 生育歴, 教育歴, 療育歴, 病歴等 (行動観察法) (面接法) (検査法)
		【領域別のアセスメント】 領域ごとに様々なアセスメントがあることを認識し、それらの基本的な知識と技能を理解する。そして、自分の実践において対象児者を理解し、問題を把握するためにどのようなアセスメントを用いればよいか分かる。	(発達のアセスメント) (知能のアセスメント) (言語・コミュニケーションのアセスメント) (適応行動と情緒のアセスメント) (感覚・運動のアセスメント) (医学・生理学的アセスメント) (発達障害のアセスメント)
		【生涯発達段階のアセスメント】 生涯発達段階ごとに、その発達状況を適切に把握できるアセスメントがあることを知る。そして、自分の実践において対象児者の発達段階に応じたどのようなアセスメントを用いればよいか分かる。	(乳幼児期のアセスメント) (児童期のアセスメント) (青年期のアセスメント) (成人期のアセスメント) (高齢期のアセスメント)
	臨床発達心理士として働く際に必要な臨床発達支援についての基本の知識と技能を理解し、それらを適切に用いて対象児者への支援を行うことができる。	【臨床発達支援の基本】 臨床発達支援の基本的考え方を理解し、臨床発達心理士として発達観点をもってどのように臨床発達の実践を行えばよいか分かる。	(臨床発達支援の基本的考え方) (臨床発達心理士の発達の観点) (臨床発達心理士の臨床発達支援の専門性)
		【分野別の臨床発達支援】 分野ごとに様々な臨床発達支援があることを知り、自分の実践においてどのような臨床発達支援が適切であるかが分かる。	(障害に関する支援) <知的障害> <ASD> <LD> <その他障害> <家族支援> (心理社会的問題に関する支援) (心理的アプローチ)
		【生涯発達段階別の支援】 生涯発達段階ごとに求められる臨床発達支援があることを知り、それらの支援の基本知識を習得する。	(乳幼児期の支援) (児童期の支援) (青年期の支援) (成人期の支援) (高齢期の支援)